

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例21

<事例概要>

- ・頸椎損傷術後でフィラデルフィアカラー装着、人工呼吸管理中
- ・気管切開術後12日目、呼吸器回路に張力がかかるないようにフィラデルフィアカラー内の清拭を実施。清拭後、SpO₂が低下し、呼吸器の無呼吸アラームが鳴動。チューブからバッグバルブ換気を行うが抵抗が強くなり、気管切開部からチューブを再挿入した。蘇生後脳症となり、チューブの逸脱から5日後に死亡。
- ・死因：換気不全、低酸素脳症。解剖有、Ai無。